

平成 19 年度三番瀬再生実現化推進調査業務
(深浅測量)

業 務 計 画 書

平成 20 年 2 月

芙蓉海洋開発株式会社

1. 業務概要

1) 業務名

平成19年度三番瀬再生実現化推進調査業務

2) 発注者

千葉県総合企画部企画調整課

3) 業務概要

本業務は、二級河川猫実川（猫実川水門から河口域）の深浅測量を実施するものです。

4) 測量場所

〔測量位置図 参照〕

5) 履行期間

自 平成20年3月 日 至 平成20年3月 日

6) 受注者

芙蓉海洋開発株式会社

7) 業務用基準

基準面：荒川工事基準面を零位とします。

8) 業務内容

工 種 名 称	規格・形状寸法	単 位	数 量	参考数量	摘 要
深 浅 測 量 水 深 測 量		式	1		音響測深機 測深機により 計測できない 部分については 直接測量
成 果 物 果 成 果 品		式	1		
報 告 書		式	1		



測量位置図

2. 業務実施方針

- 1) 横断方向の測量としまし、左岸側の堤防に距離マークと仮ベンチマーク（補助水準点）を設置致します。
- 2) 横断測線は左岸を0とし、左岸護岸法線と直交方向を測量方向とします。
- 3) 測線間隔は左岸河口を0とし、上流方向に20mピッチで設置します。（参考図青色部分）
国道から上流を詳細区域として、10mピッチで測線を設置致します。（参考図桃色部分）
横断の測深間隔は5mピッチを基本としますが、音速記録より地形変化点を読みとります。
- 4) 測量船は横断したロープに沿っての計測を基本とし、測深には音響測深機を使用します。測深機で測れない部分はレッド測深とします。
- 5) 潮位補正の潮高は、同時験潮をいたします。水深は音響測深機より測得したアナログデータ（記録紙）を用いて、5cm単位で読みとります。
- 6) 音響測深の出来ない河川の両側や干出部分は陸上からの直接測量を実施します。
- 7) 底質および堆積厚については20m間隔で目視観察とスタッフにより計測致します。

陸側

河口側



参考図